学校だより １月号

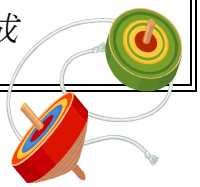
TEL　048（548）1004
FAX　048（547）1467

小谷っ子

URL　http://koya-e.konosu.ed.jp
e-mail　koya-e@city.konosu.ed.jp
毎月１９日は「食育の日」です。

平成 31 年 1 月 8 日
鴻巣市立小谷小学校

【学校教育目標】　夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



三つ子の魂　百まで
～親父の小言と冷酒は後で効く～

校　長　池澤　道弘

あけましておめでとうございます。２０１９年、平成３１年の新しい年になりました。「平成」として迎える最後の新年はいかがでしたか。保護者や地域の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、良いお正月を迎えられたことと思います。今年も本校の教育活動にご理解・ご協力をよろしくお願いします。

平成３１年はたった４か月しかありません。私の教職経験は平成元年から始まりました。５月からどんな元号になるのか、楽しみな気持ちもありますが、教員としての経験を積み重ねてきた「平成」という元号が変わってしまうのは、寂しいという気もします。いずれにしても今年は節目となる年です。平成最後の卒業式、修了式に向けて心新たに頑張っていきたいと思います。

さて、今回は「生活習慣」について私自身が感じていることについて触れたいと思います。今は８０歳を超えた年齢のためかすっかり丸くなりましたが、私の父親は昔気質の厳しさをもった父親でした。夕食の時は、テレビを見ながら一緒に食事をすることもありましたが、箸を食器の中に入れっぱなしにしたり、右手と左手で同時にものを持ったり、箸とお椀を一緒に持ったり、食器を左手で持ち上げなかったり、迷い箸をしたりするとすぐに厳しく叱られました。時には、箸で手の甲をピシっと叩かれるなんてこともありました。当然、思春期になると、内心では（うるさいなあ）と思っていましたし、青年期になるとさすがに小言を言われなくなったので、行儀の悪い食べ方も随分していたと思います。

ところが…　教員になって暫く経った頃から、給食時間の子どもたちのマナーがものすごく気になるようになったのです。特に、左手を使わない子、箸を食器の中に入れっぱなしにする子、片づけの時に食器にご飯粒などが残っている子などが…　自分が昔、あんなに「やかましいな」と思っていたことなのに…『三つ子の魂百まで』と言いますが、小さい頃に躾けられたことはずっと残るものなんだと実感しました。

食事のマナー以外でも「返事の仕方」「靴揃え」「姿勢」「言葉遣い」「あいさつ」など、将来子どもたちが大人になった時に恥ずかしくないよう、「今」身に付けさせておかなければならないことは少なくありませんが、「教育は人なり」と言う言葉が表すように、私たちが日頃、子どもたちに生活習慣について教えている源は、案外自分自身が小さい頃に躾けられたことなのかもしれません。

『三つ子』とまではいかなくとも、小学校期は集団生活の中で「基本的生活習慣」を確立させる時期であり、小学校時代にしっかり身に付けたことは後々まで生きてくるものだと思います。

もちろん、学校でも基本的生活習慣が身に付くよう継続して指導してまいりますが、定着を図るには、とりわけご家庭のご協力が欠かせません。１２月号でも申し上げましたが、教育は「人を育てる営み」です。保護者・地域の皆様には、今後も子どもたちの生活習慣の確立にご協力をお願いします。